

- 問1 長崎県壱岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国（いきこく）」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。 （2017年 長崎県公立入試 類似）
1. 『宋書』倭国伝                      2. 『後漢書』東夷伝                      3. 『魏志』倭人伝                      4. 『漢書』地理志
- 問2 1世紀半ば、奴国の王が中国の王朝（漢）に使者を送り、金印を授けられたという出来事について、その当時の国際関係のあり方や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2026年 山口県公立入試 類似）
1. 対等な立場での外交を求める国書を送り、大陸の進んだ律令制度を日本へ速やかに導入することを目的とした
2. 中国の皇帝に朝貢してその支配下に入ることで、自身の王としての地位を認めさせ、国内での権威を高めようとした
3. 仏教を日本に広めるため、優れた経典や仏像を日本へ持ち帰る許可を皇帝に求める使節を派遣した
4. 朝鮮半島での軍事的な優位を確保するため、中国の王朝と軍事同盟を結び、援軍を派遣してもらう約束を取り付けた
- 問3 弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。 （2017年 東京都公立入試 類似）
1. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪田泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。
2. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。
3. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。
4. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。
- 問4 1世紀半ばに日本の「奴国」の王が中国へ使者を送り、皇帝から金印を授かったという出来事が記されている、当時の中国の歴史書として正しいものを答えなさい。 （2016年 大阪府公立入試 類似）
1. 史記                      2. 魏志                      3. 後漢書                      4. 日本書紀
- 問5 弥生時代の稲作の普及に伴って変化した人々の生活や道具について述べたものとして、正しいものはどれか。 （2023年 佐賀県公立入試 類似）
1. 金属器はまだ伝わっていなかったため、すべて木製の農具と黒曜石の打製石器のみで耕作が行われた。
2. 稲作を管理するために、強力な権力を持つ支配者が各地に巨大な前方後円墳を築かせた。
3. 収穫した稲を湿気やネズミから守るために高床倉庫が造られ、穂首を刈り取るための石包丁などが使われた。
4. 人々は獲物を求めて移動生活を続け、土器は表面に縄目の文様がある厚手で大まかな作りのものが主流となった。
- 問6 1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。 （2026年 山口県公立入試 類似）
1. 隋                      2. 秦                      3. 魏                      4. 漢
- 問7 中国の歴史書『魏志倭人伝』の中で、邪馬台国の女王が即位した経緯や背景について説明した一節があります。その内容として最も適切な説明を次から選びなさい。 （2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. それまでの世襲制を廃止し、中国の皇帝による直接的な任命によって、最も外交能力の高い女子を王とした。
2. 大規模な干ばつや飢饉が続いたため、農業の神に仕える特別な血筋を持つ女子を王とした。
3. 仏教の教えを広めることで民衆の心を安定させるため、優れた徳を持つ女子が大陸から招かれて王となった。
4. もともと男子を王としていたが、国の中が乱れて数年も互いに攻め合ったため、一人の女子を王とした。
- 問8 古代の日中関係をまとめた学習レポートにおいて、5世紀のヤマト王権による外交について記述する場合、その内容として正しいものはどれですか。 （2025年 神奈川県公立入試 類似）
1. 奴国の王が中国の後漢へ使節を派遣し、光武帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かって、北九州での地位を確立した。
2. 小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣され、対等な立場での外交を求める国書を提出して、新しい官制や憲法を導入しようとした。
3. 「倭の五王」と呼ばれる王たちが、中国の南朝に使節を派遣し、朝鮮半島での軍事的な指揮権や自らの地位を認めさせようとした。
4. 邪馬台国の卑弥呼が中国の魏に使節を派遣し、「親魏倭王」の称号とともに金印を授かり、国内の小国連合の統制を強めた。
- 問9 佐賀県に位置する吉野ヶ里遺跡は、集落の周囲に深い濠（ほり）や土塁を巡らせた「環濠集落」の代表例として知られています。このような大規模な防衛施設を持つ集落が弥生時代に造られるようになった社会的な背景として、最も適切な説明はどれか、選びなさい。 （2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 本格的な稲作が始まり、土地や水をめぐめる集落間の争いが激しくなったため
2. 頻発する大規模な洪水や高潮から、住居や高床倉庫の浸水を防ぐ必要があったため
3. 狩猟や採集の効率を上げるために、獲物となる動物を追い込む囲いが必要だったため
4. 仏教の伝来にともない、寺院を中心とした聖域を保護する必要が生じたため
- 問10 弥生時代の祭祀に使われた青銅器のうち、釣鐘のような独特の形状をした道具について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2026年 滋賀県公立入試 類似）
1. 表面に当時の狩猟や農耕の様子、生活風景を反映した文様が刻まれている。
2. 仏教の伝来とともに寺院に設置され、人々に時刻を知らせるために打ち鳴らされた。
3. 非常に鋭い刃を持ち、敵と戦うための武器や木材を加工する工具として使われた。
4. 土でつくられ、古墳の周囲に並べることで死者の霊を慰める役割を果たした。
- 問11 弥生時代に製作された銅鐸や銅鏡などの青銅器について、その主な役割や目的として最も適切な説明はどれか。 （2026年 新潟県公立入試 類似）
1. 大陸との交易において、通貨の代わりとなる経済的な手段として用いられた
2. 稲作の豊穰などを願うための祭祀の道具として用いられた
3. 集落間の争いにおいて、敵を攻撃するための強力な武器として用いられた
4. 木材を加工したり土を掘り起こしたりするための実用的な工具として用いられた
- 問12 弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。
2. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの中で争いが起こるようになった。
3. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。
4. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。